CREATION

CITIZEN MACHINERY'S FA VIEW: クリエーション

Number 38

特 集

JIMTOF2026

CITIZEN







第33回日本国際工作機械見本市

JIMTOF 2026

2026年 10月26日月 – 31日土

10:00～17:00 最終日は16:00まで

会場 東京ビッグサイト 南2ホール

理想を現実に、新たな加工領域へ。

Vision to Breakthrough – Beyond Machining

ものづくりの未来は、これまでの常識の外側にある。

加工の精度を磨くだけでなく、工程をつなぎ、

価値をつなぎ、新たな可能性を創り出す。

それを実現するのがシチズンマシナリーの独創技術、

LFV、ATC、レーザー、摩擦接合、そしてFA Friendlyだ。

お客さまの理想を確かな生産力へと昇華し、

さらなる高付加価値の世界へ導いていく。

理想を現実に、新たな加工領域へ。

日頃よりシチズンマシナリー製品をご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。

現在の製造業は、人手不足や技能継承、エネルギーコストの上昇、品質要求の高度化など、多くの課題に直面しています。一方で、AIやデジタル技術の進展により、従来の常識にとらわれない新たなものづくりの可能性も広がり続けています。こうした変化の時代において求められるのは、単なる生産性向上ではなく、工程全体を見渡した価値創造型のものづくりへの進化ではないでしょうか。

シチズンマシナリーはこれまで、LFV（低周波振動切削）技術をはじめとする独自技術や、自動化・省力化を支援するFA Friendly、さらにはデジタル活用による生産現場の見える化などを通じて、お客さまの課題解決に取り組んでまいりました。そして今、その取り組みをさらに一歩進め、自動旋盤が担う役割そのものを拡張する提案に挑戦しています。

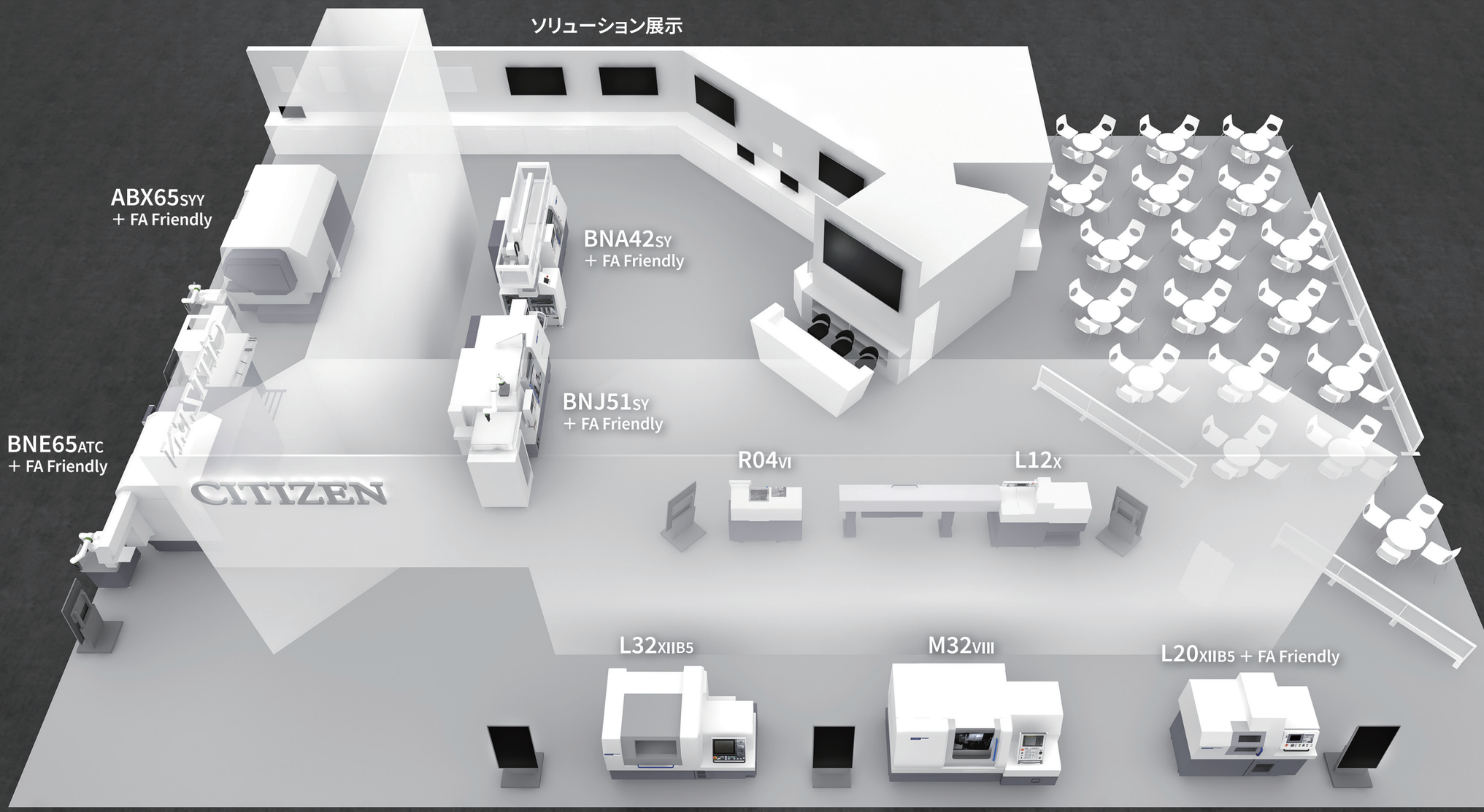
JIMTOF2026では、「理想を現実に、新たな加工領域へ。Vision to Breakthrough – Beyond Machining」をテーマに掲げます。ATC搭載機によるマシニング領域への展開、レーザー加工との融合、そして洗浄・測定・搬送までを含めたワークフロー全体の最適化など、従来の旋盤加工の枠を超えたソリューションをご紹介します。それは単なる機械の進化ではなく、お客さまのものづくりそのものを進化させるための新たな提案です。

本誌では、JIMTOF出展内容をはじめ、シチズンマシナリーが描く未来のものづくりと、その実現を支える技術・ソリューションをご紹介します。私たちは、機械や技術の提供にとどまらず、お客さまと課題を共有し、その先にある理想の生産現場をともに創り上げるパートナーを目指しています。変化する製造現場を見据え、新たな発想と技術で、これからのものづくりの可能性を切り拓いてまいります。本誌や今回のJIMTOFが、皆さまの課題解決や新たな挑戦のヒントとなれば幸いです。



取締役執行役員 営業本部長

小池 浩二



見どころ

工程が減る。人の手を離れても止まらない。これまで諦めていた形状にも挑戦できる。JIMTOF2026でシチズンマシナリーがお届けするのは、そんな「理想の生産現場」への道筋です。テーマは「理想を現実に、新たな加工領域へ」。複合加工と自動化の技術を融合し、二次工程や付帯作業を機械の中へ取り込むことで、一台で完結できる加工の幅を大きく広げました。リードタイムの短縮や品質の安定に加え、限られた人材を付加価値の高い仕事へ振り向ける余力が生まれます。新たな加工領域がもたらす変化を、ぜひ会場でご確認ください。

ワークショップのお知らせ

テーマ

自動盤でここまでできる

ーマシニング領域へ広がる複合加工・自動化の新提案ー

日 時　10月26日（月）13:30〜14:30

会 場　東京ビッグサイト 南展示棟4F ホール内ステージ

ライブ配信のお知らせ

YouTube配信

10月26日（月）
①10:00〜 ②12:30〜

10月27日（火）
①10:00〜 ②12:30〜

公式YouTubeチャンネル
チャンネル登録をお願いします

EcoBalance Machine

シチズンマシナリーは、お客さまの現在の課題だけでなく将来の課題も見据えてものづくりのワークフローを革新し、持続可能な社会を目指します。

バリューチェーン全体で人権や地球環境などの社会課題にも配慮した「サステナブル経営」を通じて持続的な企業価値の向上を図るとともに「シンコム」と「ミヤノ」ブランドを軸に「LFV（低周波振動切削）技術」を代表とする独自技術、ロボットシステム「FA Friendly」、ICT 技術を活用した「アルカプリソリューション」などのサステナブルプロダクツの提供を進めてまいります。

L32XIIB5

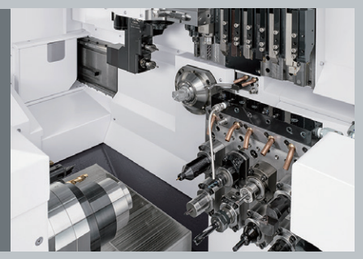
EcoBalance Machine

進化を遂げたL32が、JIMTOF2026に登場します。B軸旋回による同時5軸制御に対応したATCスピンドルは、4.0kWモーターによる高トルクと30,000min^{-1}の高速回転を実現。高トルクと高速回転を兼ね備えた強力な加工性能により、これまでマシニングセンタが担ってきた医療・歯科・宝飾・腕時計分野の精密かつ複雑な形状部品を、自動旋盤ならではの高い生産性で安定して加工します。さらに、ATCスピンドルには最大10MPaの高圧クーラントを吐出できるノズルを装備し、加工安定性の向上に貢献します。また、LFVにより斜め穴加工にも対応し、小径ドリル加工時に発生しやすい切りくずトラブルを大幅に低減。今回はφ38mmまで加工可能なオーバーサイズ仕様を展示します。L32が切り拓く、新たな加工領域をご覧ください。



見どころ

- B軸ATC最高30,000回転で高速切削
- マシニングセンタ並みの複雑形状加工
- ATC機内計測で段取り削減



M32VIII

EcoBalance Machine

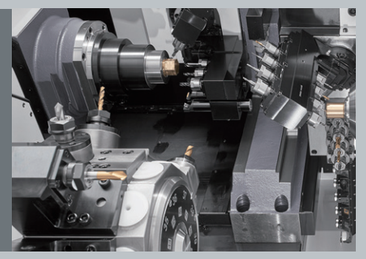
今回のJIMTOFでは、M32による多彩な歯車加工をご紹介します。ホブ加工した平歯車へのラックカッターによる面取り加工、シェーパー加工による内歯車、自動旋盤内でのストレートベベルギヤ加工を実演。分割される工程を一台に集約し、複雑化する部品加工への対応力をご覧いただきます。

高圧クーラント装置には、イーグル工業製の「KIRI-HASHI」を搭載しました。2MPaの中圧4系統と7MPaの高圧2系統を備え、加工内容に応じてクーラント圧力を使い分けます。高圧クーラントは内部給油突切りやタレット回転工具に、中圧クーラントは切りくず排出や洗浄などに活用。必要な箇所へ適切な圧力で供給することで、加工の安定性と省エネルギー性の両立に貢献します。歯車加工に特化した展示と、効率的なクーラント供給技術。その組み合わせが生み出す、新たな加工領域を、会場でお確かめください。



見どころ

- くし刃＋タレットで多品種に対応
- 歯車加工に特化した実演
- 約25%省エネの高圧クーラント装置



BNE65ATC

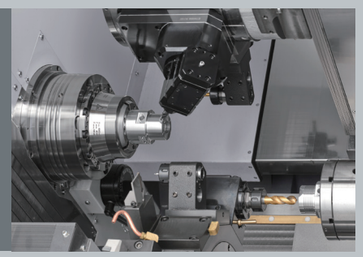
EcoBalance Machine

複雑形状部品を連続かつ安定して加工したい。そんなお客さまの声に応えて、BNE-65ATCがLFV搭載モデルとして進化しました。省スペースな機械サイズにB軸機能とATC機能を凝縮し、高度な複合加工と優れた生産性を両立。タレットにはB軸旋回式ATCスピンドルを搭載し、同時5軸加工による多面加工や複雑形状ワークに対応します。さらに、回転数は従来モデルの2倍となる12,000min^{-1}へ向上。小径工具でも十分な周速を確保し、加工面品質の向上と加工領域の拡大を実現しました。LFVとの組み合わせにより、細径・斜め穴の深穴加工も安定して行え、切りくずトラブルを大幅に低減。増速スピンドル、クーラントスルー、LFVの相乗効果により、複雑形状部品の安定連続加工を実現します。展示機はアンローダーを備えたフルオプション仕様で、ワークの外観品質を守りながら長時間自動運転を可能にします。



見どころ

- ATC活用で6面加工を1台に集約
- 2倍速ATCで加工時間短縮
- アンローダーを備えたフルオプション仕様



L20XIIB5

EcoBalance Machine

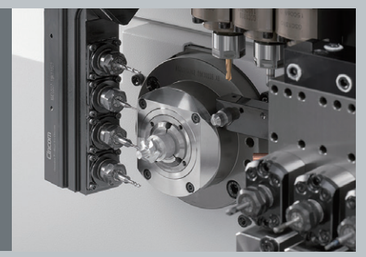
L20XIIB5は、切削、異種材摩擦接合、レーザー加工を一台で連続して行い、複数工程の集約による生産性向上を提案します。加工実演では、アルミニウムと炭素鋼を用い、切削から異種材接合、レーザーによる切断、溶接、焼き入れ、マーキングまでを約15分で行います。ファイバー伝送式レーザーの加工ヘッドをB軸回転工具部に搭載し、自動旋盤の高精度な位置決め性能とB軸による角度制御を活かしたレーザー加工を実現。従来は別設備で行っていた後工程を機内に集約し、工程間搬送や段取り替えを削減します。

さらに、搬送装置とFA Friendlyにより、異種材の供給からワークの回収、全長計測、収納までを自動化。工場エアーからアシストガス用の窒素を生成する装置や、サイクロンフィルタCFD600によるスラッジ・切りくず回収も組み合わせ、自動旋盤の加工領域を広げる高効率・高付加価値な生産システムを提案します。



見どころ

- 切削・接合・レーザーを1台に集約
- 機内レーザー加工で後工程を削減
- 供給から計測まで自動化



BNJ51SY

EcoBalance Machine

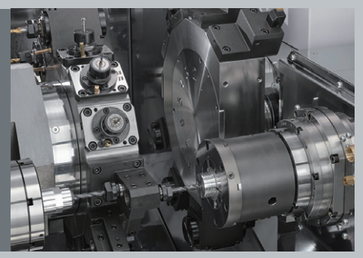
BNJ-51SYが、さらなる高生産・高付加価値加工を実現する一台へと進化しました。正面主軸にはφ65バー材対応仕様を追加し、主軸トルクも向上。高剛性化による工具寿命延長、熱変位精度を高め、安定した連続生産を支えます。さらにLFVに対応することで、切りくずトラブルの低減と生産性向上に貢献します。2基のタレットのツールホルダーを共通化することによりツーリングの自由度を大幅に向上しました。

会場では、機械本体の設置面積を変えることなく供給・搬出を可能にするオンマシンタイプのFA Friendlyを活用。A3サイズのパレットを最大12枚収納可能で、長時間の自動運転と省力化に貢献します。1つのブランク材（アルミ）から2つのワークを加工・組立てまで機内で完結し、新たな生産スタイルをご覧いただけます。



見どころ

- φ65バー材から連続生産が可能
- オンマシンタイプのFA Friendly搭載
- A3サイズのパレットを最大12枚収納可能



ABX65SYY

EcoBalance Machine

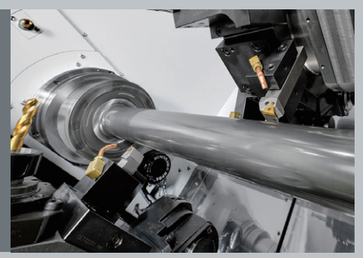
大型複合加工機ABX-65SYYが、さらなる進化を遂げて登場します。正面・背面主軸のモーター出力を従来の最大18.5kWから25kWへ向上させ、強力切削時の負荷に強い、安定した加工を実現しました。正面・背面の両主軸にアプローチできる上下タレットが短尺から長尺ワークまで幅広く対応します。

会場では、POM（高機能プラスチック）材加工を実演。LFVとバキュームによる切りくず回収の組み合わせにより、樹脂加工で課題となる長尺切りくずの発生や工具への絡み付きを抑制し、ドライ加工による安定生産をご提案します。さらに、ローダーとワーク搬送シャトルによる自動給排材に加え、オンカートタイプのFA Friendly、ストッカー、計測装置を連携。外径計測では、マイクロメータを用いた自動計測ユニットで、加工後のワークを全数測定。測定データを活用した品質管理により安定した品質確保と生産性向上に貢献します。



見どころ

- 主軸25kWで強力切削も安定
- マイクロメーターを用いた自動計測ユニット
- 樹脂加工をLFVにより安定して切削



BNA42SY

EcoBalance Machine

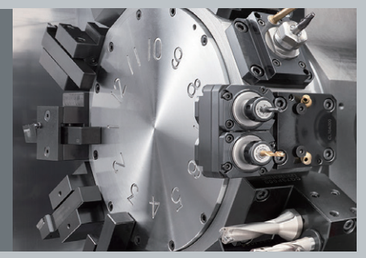
BNA-42SYは、高剛性なすべりスライドとLFVを融合した、ミヤノの複合加工機です。LFVが切りくずを細かく分断し、安定加工と長時間の無人運転に貢献します。12ステーションすべてに回転工具を搭載できるタレットに、Y軸と左右主軸の同時加工機能を組み合わせ、複雑形状にも柔軟に対応。2軸オンマシンローダーにより、素材の供給からワークの回収・収納までを自動化。ワークの左出し、右出し、左右出しを選択でき、生産工程や工場レイアウトに合わせた柔軟なシステム構築を可能にします。このローダーはGコード・Mコードで加工プログラムと同様に操作でき、新たな操作習得の負担を抑え、自動化をスムーズに導入可能。

対話式プログラミング機能「対話プロ」も搭載し、プログラム作成と段取りの効率化を支援。機械画面の案内に沿って、加工形状の寸法や加工条件を入力するだけで、NCプログラムを自動作成します。



見どころ

- 全12ステーションに回転工具を搭載可能
- G/Mコードで制御可能な2軸オンマシンローダー
- 対話式プログラムで段取り簡単



L12X

L12Xは、LFVを活用した樹脂加工ソリューションを提案します。LFVが切りくずを細かく分断して、工具への付着やトラブルを抑制。イオナイザによる除電効果で清掃負担やダウンタイムの削減に貢献します。加工実演では、おみくじ形状を模した樹脂ワークを加工し、偏芯ターニング加工や3D面取り機能なども紹介します。また、既存システムと比較して、機能を集約したコンパクトなエアロゾル加工装置を搭載し、導入しやすさを高めたパッケージにてご提案します。



見どころ

- 38 本の工具で小径部品を工程集約
- 樹脂加工に向けたパッケージをご提案
- 機能を集約してコンパクトなエアロゾル

R04VI

R04VIは、電子部品分野で求められる微細加工への対応力を追求しました。今回の展示では、プローブを模した真ちゅう製のサンプルに加え、φ0.06mmのピン製品や、φ0.12mmの穴加工とφ0.2mmエンドミル加工を含む製品を展示し、高い微細加工能力をご紹介します。また、省スペース内での作業性を考慮したハイドロチャックドリルスリーブを搭載し、作業性向上を提案。φ15.875mm対応の電動スピンドルも展示し、省スペース機でありながら幅広い加工ニーズに対応できる拡張性を実現します。



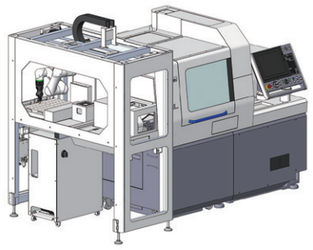
見どころ

- 高速主軸で小径精密加工が安定
- φ0.06mm の微細加工を展示
- 超コンパクト設計で省スペース

FA Friendly

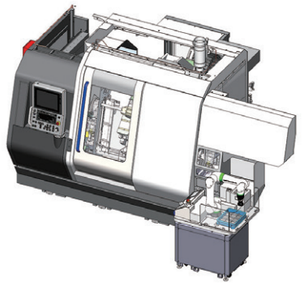
お客さま工場の自動化・省力化のニーズにお応えするソリューション「FA Friendly」。
　シチズンマシナリー製自動旋盤の“自動”の領域を前後工程まで拡張し、新たな自動化・省力化をご提案します。これまで蓄積してきた自動化のノウハウを「FA Friendly」コンセプトに融合。ワーク供給・搬出・収納、そして収納した製品の搬送など、生産現場の困りごとの解消を目指したFAの実現に最適な製品をご提供します。

タワータイプ



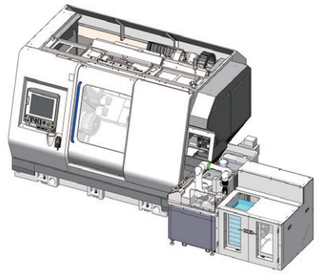
- 上部空間を活用した省スペース自動化
- 追加スペース不要で導入可能
- ハンド搬送により傷・打痕を低減
- 素材供給から計測・収納までを自動化

オンカートタイプ



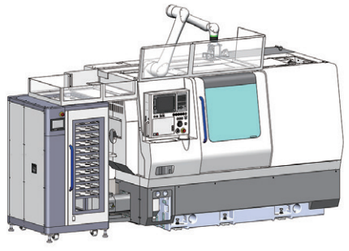
- ハンド搬送により傷・打痕を低減
- ワーク姿勢を保持した安定搬送を実現
- カメラレス化により設備構成を簡素化
- 低コストで自動化システムを構築可能

オンカートタイプ（計測フィードバック仕様）



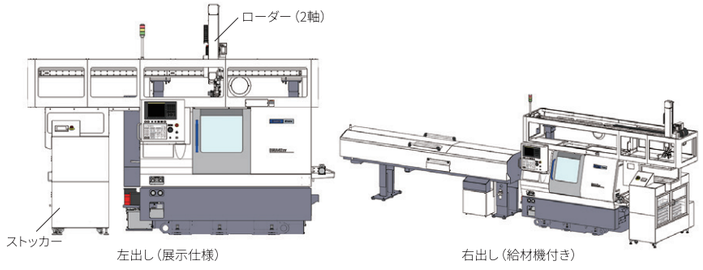
- ハンド搬送により傷・打痕を低減
- 計測結果を機械へフィードバック
- 安定した加工品質を実現
- 素材供給から完成品収納までを自動化

オンマシンタイプ（ロボット）



- ロボット機上搭載による省スペース化
- 協働ロボット採用により安全柵を最小限化
- 作業者の動線を考慮したレイアウトを実現
- 周辺装置との連携で生産性向上に貢献
- ラック型ストッカー
- 素材供給と完成品収納を自動化
- A3サイズパレットを最大12枚収納可能
- 生産量に応じた柔軟な運用に対応

オンマシンタイプ（ローダー）



- 2軸ローダーによる自動搬送を実現
- 左出し・右出し・左右出しに対応
- レイアウトに応じた柔軟なシステム構築が可能
- バー材加工とチャッカー加工の両立に対応

対話プロ

段取り時間を短縮し、生産現場の効率化を支援

機械画面上で加工条件や寸法を入力するだけでNCプログラムを自動生成する「対話プロ」。
　プログラム作成の効率化に加え、加工シミュレーションによる事前確認も可能なため、段取り作業の負担軽減と生産性向上に貢献します。

ミヤノブランド向け 対話式プログラミング機能「対話プロ」

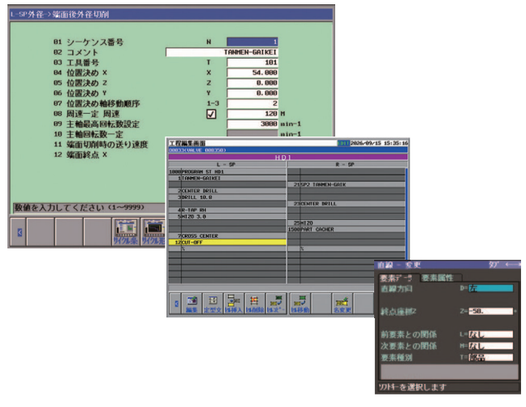
ミヤノブランド向けの対話式プログラミング機能「対話プロ」は、機械画面上で加工条件や寸法を入力するだけで、NCプログラムを自動作成できる機能です。
　段取り作業において時間や工数を要するプログラム作成を効率化し、加工準備時間の短縮に貢献します。

主な特長
- 対話形式の入力による簡単なプログラム作成
- 平面・3Dシミュレーションによる加工内容の事前確認
- 旋削加工から複合加工まで幅広く対応
- NCプログラムへの変換機能を搭載

段取り時間の短縮と技能継承をサポート

対話形式の簡単な入力でNCプログラムを自動作成。加工シミュレーションによる事前確認でミスを抑制し、段取り時間の短縮と加工品質の向上に貢献します。複雑形状のプログラミングにも対応するほか、教育負担の軽減や技能継承を支援。さらに、作成したプログラム資産を有効活用できるため、生産現場の効率化と生産性向上をサポートします。

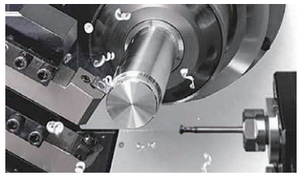
対話プロは、熟練オペレーターの経験に依存しがちなプログラム作成業務をサポートし、より効率的な生産現場づくりを支援します。





LFV（低周波振動切削）技術

「LFV（低周波振動切削）技術」は、X/Z各サーボ軸を切削方向に振動挙動させ主軸回転と同期させながら切削を行う技術です。製品や刃物への切りくずの巻きつきによって発生する様々なトラブルを解消、小径深穴加工や難削材加工に有効です。



LFV mode1

切りくずをしっかり分断したいときにワーク1回転あたりの振動回数を指令する方法

解説動画　加工動画

LFV mode2

細物加工や小径深穴加工など周速が必要なときに1振動あたりのワーク回転量を指令する方法

解説動画　加工動画

LFV mode3

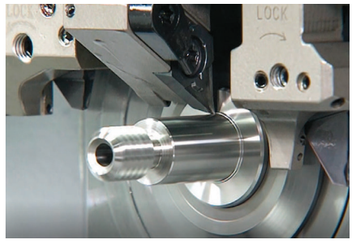
ねじ切り加工で切りくずを分断したいときにねじ切りパス毎に振動のタイミングを変化させ加工する方法

解説動画　加工動画

エアロゾル加工

0.1 - 0.5 μmのエアロゾル状加工液を圧縮エアーと共に加工点に吐出する「MQL加工」と「LFV（低周波振動切削）技術」を組み合わせ、加工点への潤滑・切削熱の抑制・切りくず除去効果により切削性能を高めるシチズンマシナリーの独自技術です。微量に使用する加工液は切削熱で気化するため、加工ワークや切りくずをよりドライな状態に保ち、作業環境の改善・加工室内の視認性向上・環境負荷の低減・洗浄工程の軽減などに貢献します。JIMTOF2026では「L12X*」にて加工実演をおこないます。

＊本誌P09参照



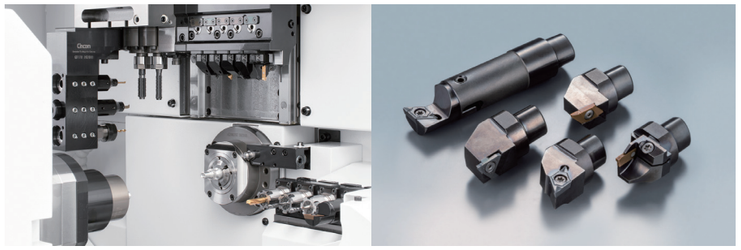
摩擦接合

「摩擦接合」とは、材料同士の摩擦熱によって材料を軟化させたのち、高い圧力を加えて軟化した部分を接合させる技術です。JIMTOF2026ではL20にこの機能を搭載し、異材種のワークを接合する実演をおこないます。この新たな部品生産方法の提案をどうぞご覧ください。切削加工と摩擦接合を組み合わせた工程集約は、生産の効率化、材料費の削減、環境負荷の低減、加工部品の軽量化などに貢献します。

異材種接合の実演とは別に、摩擦接合技術を用いて実用化を果たした「残材削減機能」も動画などの資料でご紹介します。「残材削減機能」とは、主軸台移動形自動旋盤において宿命と考えられていた200mm前後の残材を、廃棄することなく新材に接合して生産をつづける機能です。この機能により残材長を1/5程度まで短縮することが可能になります。高価な材料を最大限有効活用する生産方式として、ご検討ください。

CIツーリングシステム

「CIToolingSystem（シーアイツーリングシステム）」は、シチズンマシナリーが提案するクイックツールチェンジシステムです。ツール交換時にクサビやボルトを使用しないため、段取り作業における工数削減や安全性向上に貢献します。JIMTOF2026では、新たにラインナップした後付けも可能な各種製品を出展。直接お手にとっていただき、ぜひその段取り性向上効果をご体感ください。

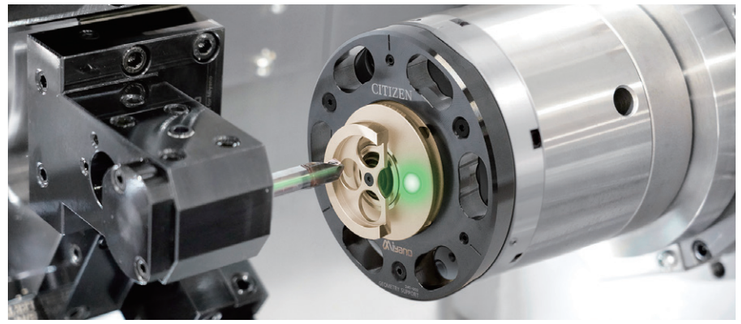


シンコムでは、L20、L32のくし刃刃物台クランプユニットを新たにラインナップ。業界最小のポリゴンテーパーシャンクと角シャンクを併用可能。多彩な旋削ツールに対応します。

ジオメトリーサポート

形状補正の設定作業をタッチセンサーでサポートし、作業効率が40%アップします。（弊社標準手順での比較）

5分でわかる
ジオメトリー
サポート



高剛性ツールホルダー（内部給油仕様）

高剛性化により、外径荒挽きなどの送りアップや取りしろを増やし、高能率な加工を可能にします。



高送り突切りホルダー

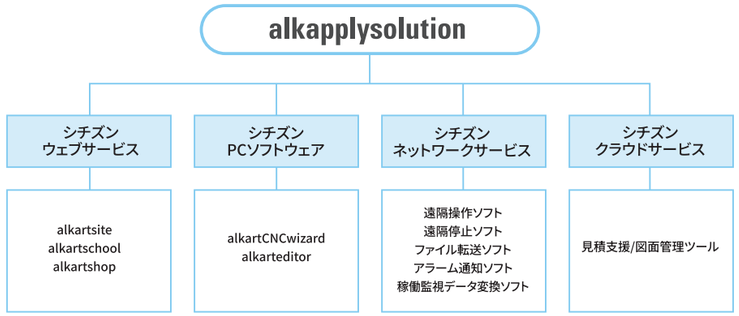
独自の高剛性設計により安定した高送り加工を実現。大幅な加工時間の短縮に貢献します。



alkapplysolution（アルカプリソリューション）

デジタル技術で、現場の生産性向上と技術継承を支援

alkapplysolutionは、シチズンマシナリーが提供するクラウドサービス、Webサービス、ソフトウェア、ネットワークサービスを統合したソリューション群です。見積業務の効率化から技術習得、NCプログラム作成、機械の遠隔監視・操作まで、製造現場のさまざまな課題解決をサポートします。



クラウドサービス

■見積支援／図面管理ツール

過去の図面や見積実績をAIが分析し、類似図面検索や見積作成を支援します。社内資産の有効活用により、見積作業の効率化と業務負荷の軽減を実現します。

ウェブサービス

■alkartsite（アルカートサイト）

加工技術情報、全機種マニュアル、加工事例動画などを閲覧できる会員向けサービスです。豊富な技術コンテンツを活用することで、お客さまご自身で課題解決を進めることができます。

■alkartschool（アルカートスクール）

NCプログラムや機械操作をオンラインで学べるeラーニングサービスです。技術者のスキル向上や新人教育を効率的に支援し、教育負担の軽減にも貢献します。

PCソフトウェア

■alkartCNCwizard（アルカートCNCウィザード）

対話形式でNCプログラムを作成できる支援ソフトウェアです。
プログラミング作業を効率化し、誰でもスムーズなプログラム作成をサポートします。

■alkarteditor（アルカートエディター）

NCプログラムの編集・管理を支援するソフトウェアです。
プログラムとツールレイアウトを一元管理でき、多系統プログラムの編集にも対応します。

シチズンネットワークサービス

共通プラットフォーム上で機械との接続を実現し、遠隔からの運用・管理をサポートします。

■遠隔操作ソフト

現場へ移動することなく機械状態の確認やオフセット入力が可能です。

■ファイル転送ソフト

NCプログラムなどのデータをドラッグ&ドロップで簡単に送受信できます。

■アラーム通知ソフト

機械の異常や予告情報をメールで通知し、ダウンタイムの低減と生産性向上を支援します。

■遠隔停止ソフト

離れた場所から安全に機械を停止でき、緊急時や品質管理対応を迅速に行えます。

お客さまのものづくりを支えるソリューション

- ■見積・プログラム作成業務の効率化
- ■技術伝承や人材育成の省力化
- ■機械停止時間の削減と生産性向上
- ■現場作業の負荷軽減と迅速な意思決定
- ■製造データの有効活用による競争力強化

保守サービスのご紹介

故障 / 修理 / 加工技術のご相談

電話受付

TEL: 0570-006644 Cincom Miyano 共通

音声ガイダンスが流れます。
Cincom製品の故障・修理は 1 を　Miyano製品の故障・修理は 2 を
プログラム / NCスクールに関するお問い合わせは 3 を押してください。

WEBでのお問い合わせ

電話 受付時間（土日祝 除く）
故障 / 修理　8：30〜18：00　プログラム / NCスクール　8：30〜17：00

部品注文

電話受付

Cincom製品の部品ご注文　TEL: 0267-64-6740
Miyano製品の部品ご注文　TEL: 0267-64-6710

電話 受付時間（土日祝 除く）
部品注文　9：30〜17：00　※平日15:00までの受付完了で当日発送いたします

WEBでのお問い合わせ

FAX受付　FAX: 0267-64-6711 Cincom Miyano 共通

LINEのご案内

LINEでのお問合せや部品のご注文

初回のお問い合わせに際しまして、お客さまのご確認をさせていただくため、利用登録をお願いいたします。

対応時間　8：00〜16：30　受付は24時間しています

カスタマーサポート
LINE公式アカウント

※お問い合わせへの回答は電話でのご連絡をさせていただきます。
　弊社休日及び時間外にいただいたお問い合わせにつきましては翌営業日に対応させていただきます。
※LINE及びLINEヤフーロゴは、LINEヤフー株式会社の商標または登録商標です。
※LINEのご登録は、エンドユーザーさまに限らせていただきます。

pick up! ユーザーボイス

アネックスツール株式会社さま



ものづくりの英知を結集した工具で人々の暮らしと社会への貢献を目指す



アネックスツール株式会社
代表取締役
兼古 敦史氏

金属加工で知られるものづくりの町・新潟県三条市で、75年以上にわたりドライバーを中心とした工具を作り続けてきたアネックスツール。さまざまな機器や装置の設置・メンテナンスに使われる工具は、国内はもとより世界的にも高い評価を誇る。兼古敦史社長と第二製造部の小林龍雄次長に、革新的で強靭な商品を生み出す様々な取り組みについて伺った。

戦後の復興に向け工具の製作所を創業

古くから鍛冶職人の伝統が息づく三条市で、「兼古製作所」が創業されたのは1949（昭和24）年。創業者である兼古社長の祖父は、戦後の復興に向け自動車やバイク、ミシンなどが生活必需品になることを見越し、それらの製造・保守に欠かせないマイナスドライバーの製造を開始した。狙いは的中し、特に自動車の搭載工具として関連企業の需要を喚起し会社は成長した。

その後、兼古社長の父親である2代目は会社の将来性を考え、より幅広いユーザーに商品が届くよう、ホームセンターや工具のプロショップで自社開発の新商品を販売するスタイルに業態を革新。「アネックス」ブランドを立ち上げ、性能・デザイン性・使いやすさなど商品力を磨き、特許や意匠、実用新案も多数取得し、グッドデザイン賞も連続受賞するなど高い評価を得た。こうして2022年に兼古社長が3代目に就任。同社が培ってきた優れた技術や企業理念を継承しながら、社名に同社の代名詞となったブランド名を入れ「アネックスツール」に刷新した。現在は、電動ドライバーやインパクトドライバーに取り付けるビット（先端工具）を中心に、売り上げの8割以上をアネックスブランドが占めている。

一方、革新的な工具を多数製造するようになった先代社長の時代に、カム式の自動旋盤からNC自動旋盤への転換にも着手。すでにNC自動旋盤を採用している協力会社の多くが、性能面やサービス面の良さから当社を推奨したことからシンコムB12の導入を決定。性能・サービス共に期待を超える効果が得られ、以後、継続的に当社製品を採用いただいており、兼古社長は「アネックスブランドはカタログの商品だけで約1,500アイテム、OEMを含めると約5,000アイテムあります。ニッチなドライバー工具だけでこれだけの種類を製造する上で、NC自動旋盤は圧倒的に優れていて小ロットにも対応しており、まさに時代にマッチしたマシンだと思っています」と実感を込める。

シンコム導入で商品の一貫生産が可能に

NC自動旋盤の導入は、それまで協力工場でしかできなかった加工も社内でできるようになったという点でも画期的だったと、第二製造部の小林次長は話す。「これにより、材料調達から加工、焼き入れ、表面処理まで、一部のメッキ加工を除いて全工程がワンストップで行えるようになり、当社の強みをさらに高めることができました」。

小林次長は、同社が約20年前にシンコムB12を導入したときの担当者でもある。「何も知らないゼロからのスタートでしたが、すでにシンコムを使っていた協力会社が近くに多くありましたので、わからないところは皆さんに教えてもらいながらマスターしていきました。そうした過程で実感したのは、1,000分の1ミリという精度の高さはもちろんですが、高い性能が安定して持続されることがいかに重要かということです。選択してよかったという思いは今も変わりません」と強調する。

さらに兼古社長は「さまざまな形でも社内で一貫して加工できるようになり、試作のスピードも格段に速くなりました」と付け加える。同社では開発部門を継続的に強化しているが、自社ができない加工は金属の町である地場の力を活用して試作してきた。そこにシンコムが導入されたことで試作のスピードが加速し、新商品の開発サイクルは工具業界でも驚かれる年間40アイテムが可能となり、「お客さまの多様化するニーズに応え、さまざまな現場での質の高い作業に対応できるよう、商品展開は自然に増えていきました」と紹介する。

こうしたことから、同社では自動旋盤の概念を覆すほどの多彩な複合加工が実現されたシンコムM32を早くから導入し、複雑加工の部品も自社でカバー。兼古社長は「もし早い時期に導入していなければ、自社でできない加工を協力工場に依頼しなければならず、それによりお客さまにご提供する価格も上がっていたでしょう」と話す。



多彩な複合加工ができるシンコムM32の操作について若手社員に指導する小林次長

アネックスツール株式会社さま



アネックスツール株式会社
第二製造部 次長
小林 龍雄 氏

改善活動を表彰し より働きやすい職場に

アネックスツールが目指しているのは、商品力の高さだけではない。全社全員で取り組んでいる「改善活動」も、兼古社長が先頭に立って会社の価値を高める、いわば成長戦略といえるものだ。

従業員は、全員が週に1度時間を取って改善活動を行っており、社長を含む事務局メンバーが各現場の改善活動を直接見て評価する。具体的には、毎月従業員から上がってくる報告レポートをもとにビフォーアフターを確認し、単に評価するだけではなく、より良くするためのアドバイスを行っている。そうした中で、従業員からの困りごとの相談があれば一緒に解決するためのアイデアも出し合い、共に安全で働きやすい職場づくりを進めている。



シンコムで加工した刃先をドライバーにセットする成型工程

また、この改善活動にはインセンティブの仕組みもあり、毎月の改善活動を報告するレポートには内容に応じてポイントが付与され、年間獲得ポイントの総合1位から3位の部署には毎年行う年始の会で表彰し副賞も授与。「加えて、特に評価の高い改善活動を行った個人にはMVPを授与して皆で讃えています」（兼古社長）。

ちなみに、工場内の働きやすさや生産効率の向上という点では、当社も微力ながら貢献させていただいたことがある。それは、工場の建屋内でアトランダムに並んでいる多様な機種を、生産効率や従業員の作業のしやすさを考えて並び替えるお手伝いで、小林次長は「私たちのわがままなお願いに対し、シチズンマシナリーからは2日がかりで多くの人に来ていただき、メーカーならではの視点も入れて効率的なレイアウトに替えていただくことができました」と笑顔を見せる。



主力ビット商品の正確かつスピーディーなケース入れ工程



創業からの歴代商品と会社沿革が展示された部屋も興味深い

「アネックスでなければ」と言われるツールに

現在、アネックスツールが注力しているのが自動化の推進だ。同社では導入から時間の経った機械も稼働していて、複数の機械で順番に加工して完成させる商品もあった。この場合、次の工程の機械に進む際には、その都度商品の刃先を人がそろえて向きを合わせ、カートリッジにセットするといった作業があり、NC自動旋盤はそれら複数の工程を1工程で完結することを実現した。

同社では、さらにその先の自動化も見据えている。NC自動旋盤を核に、可能な限り人の手を省きながら、加工精度を向上させ生産性も上げる自動化・省人化を目指すもので、「そこで創出された時間を生かし、従業員は生産性や品質の向上など、より価値を生む仕事に集中できるようになります」（兼古社長）。



精密加工された製品ラインナップを説明する兼古社長

ここで、これまでの当社の対応について兼古社長に伺うと、「いろいろと大変なお願いをしてもすぐに対応いただき、またLFV（低周波振動切削）など新たな機能を持つ機械を導入してわからないことを聞きたいときにも、問い合わせれば丁寧に教えてもらえるので非常に助かっています」という言葉をいただいた。

また小林次長は、電話やFAXで行っていた機械の作動などに関する問い合わせにLINEが使えるようになったことに言及。「実際に加工を行っている現場からも、画像や動画で状況をすぐに伝えることができ、その後のスムーズな対応につながり喜ばれています」と紹介する。

今後の展望を伺うと、小林次長は「自動化をさらに進め、誰もが同じ操作ができる仕組みを確立することで、例えば男性社員が育休を取っても女性社員が何の問題もなくフォローできるような現場にしたいです」と明言。兼古社長からは「メーカーの真価は商品力であり、他ではできない商品を皆さんにお届けすることが私たちの使命だと思っています。特に、ニッチな商品というのはお客さまとの距離が近いということであり、これからもそのことの価値を追求して『アネックスツールじゃなければ駄目だ』と言われる商品を世界に送り出す企業を目指していきます」と、力強い言葉がすぐに返ってきた。革新的な商品で社会に貢献する同社の、さらなる飛躍に期待したい。



Interviewer
シチズンマシナリー株式会社
営業本部 副本部長
長田 俊哉



ANEX アネックスツール 株式会社

本社・工場	新潟県三条市塚野目2201番地
福岡営業所	福岡県福岡市博多区山王1丁目13番35号
代表者	代表取締役 兼古 敦史
資本金	3,000万円
創業	1949年10月
設立	1954年 3月
営業品目	各種ドライバー、ビット、クラフトツール・ピンバイス、その他作業工具
URL	https://www.anextool.co.jp/

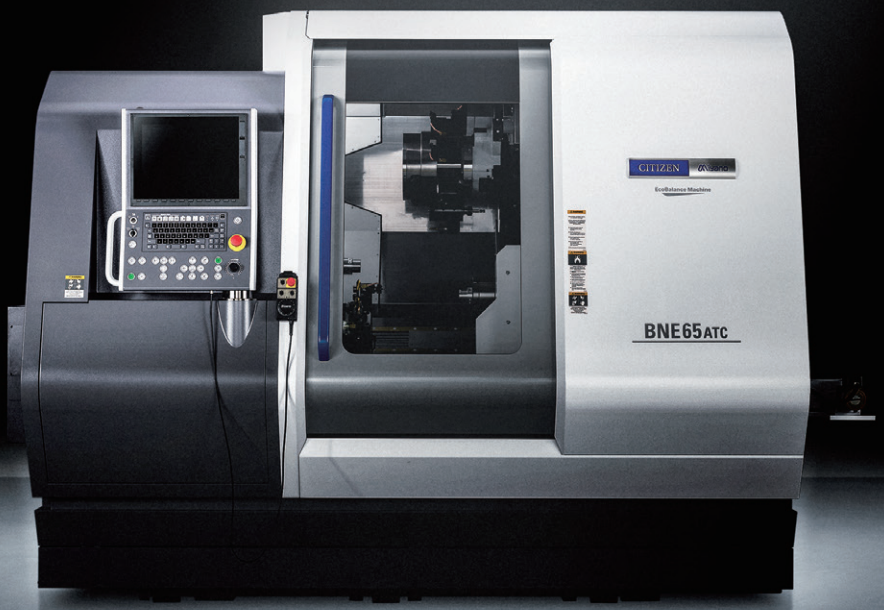
2026年10月13日発行　第38号　編集・発行：シチズンマシナリー株式会社　発行人：伊奈秀雄　〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6

ものづくりの未来は、これまでの常識の外側にある。
加工の精度を磨くだけでなく、
工程をつなぎ、価値をつなぎ、新たな可能性を創り出す。
それを実現するのがシチズンマシナリーの独創技術、
LFV、ATC、レーザー、摩擦接合、そしてFAフレンドリーだ。
お客さまの理想を確かな生産力へと昇華し、
さらなる高付加価値の世界へ導いていく。

理想を現実に、新たな加工領域へ。

Vision to Breakthrough – Beyond Machining

CITIZEN



南2ホールで、その可能性を。

JIMTOF2026
小間番号：S2002

シチズンマシナリー株式会社

営業本部	〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	TEL：0267-32-5901	FAX：0267-32-5908
東北営業所	〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田169-2	TEL：022-773-6870	FAX：022-773-6873
東日本SC	〒359-0001 埼玉県所沢市下富840	TEL：04-2943-6363	FAX：04-2943-6660
長野営業所	〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	TEL：0267-32-5901	FAX：0267-32-5908
諏訪営業所	〒392-0013 長野県諏訪市沖田町2-127	TEL：0266-57-2225	FAX：0266-57-2226
浜松営業所	〒430-0906 静岡県浜松市中央区住吉4-17-13	TEL：053-471-4311	FAX：053-474-7166
名古屋SC	〒457-0841 愛知県名古屋市南区豊田1-26-5	TEL：052-694-1211	FAX：052-694-1210
西日本SC	〒577-0824 大阪府東大阪市大蓮東4-11-24	TEL：06-6727-3681	FAX：06-6727-2709
広島営業所	〒733-0012 広島県広島市西区中広町3-4-1	TEL：082-293-5455	FAX：082-293-5536

URL：**https://cmj.citizen.co.jp**
E-mail：**sales-cmj@ml.citizen.co.jp**

※本誌の記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。 ※本製品は、日本政府の外国為替及び外国貿易法により戦略物資など輸出規制品に該当する可能性があります。本製品を輸出する場合は弊社販売担当者にお問い合わせください。
※本製品を移設・転売・再輸出する場合は、事前にシチズンマシナリー株式会社宛にご連絡をお願いします。弊社による確認が行われない限り当該製品の運転を行うことはできません。 ※弊社の商品またはサービスの名称等は、シチズン時計株式会社の商標または登録商標です（シチズングループ各社の商標、登録商標の場合もあります）。（例：個の量産、MultiStationMachiningCell、LFV、他）その他の商品またはサービスの名称等 は、一般に各社の商標または登録商標です。